

夏野菜 いよいよ出荷

三重オクラ順調
出荷量にも期待

三重県鳥羽志摩地域

【三重・伊勢】JA
伊勢管内の鳥羽志摩地
域で21日、県内トップ
を切って、施設で栽培
した「三重オクラ」の
出荷が始まった。

志摩市の川口利雄さ
ん(81)の施設では、
ストックの後作として
オクラを栽培する。ス
トックの出荷が終わっ
た3月下旬にオクラの
種をまく。6月中旬か

ら7月上旬に収穫の最
盛期を迎え、朝夕の2
回、摘み取り作業を行
う。川口さんは「3月



収穫作業をする生産者(21日、三重県志摩市で)

下旬には天候や気温が
安定していたので、生
育はおおむね順調だ。
出荷量も期待できそう
だ」と話す。

オクラは軽量で、年
齢や性別を問わずに気
軽に取り組めることか
ら、JAは2005年
から栽培を推進し、管
内は県内有数のオクラ
の産地になった。25年
度は生産者28人が約57
㏎で栽培する。出荷
は、露地物も含めて10
月上旬まで続く。